

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	可児市	地区名	可児市南西地区	面積	931 ha
計画期間	平成 18 年度	～	平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度	～	平成 22 年度

<b>目標</b> 大目標: 住環境を再生し安心・安全・潤いのあるまちづくりを目指す 目標1 まちづくりの基本性能である安全性やバリアフリーに配慮した住環境づくり 目標2 やすらぎと潤いや健康増進に資するレクリエーション・アメニティ・機能の向上
---

<b>目標設定の根拠</b> まちづくりの経緯及び現況 <ul style="list-style-type: none"> <li>・当地域は名古屋から1時間以内の通勤通学圏にあることから名鉄西可児駅を中心に昭和40年代後半から急速に住宅団地が開発されてきた。</li> <li>・現在大規模な住宅団地は名鉄西可児駅を中心に7カ所があり、定住人口は20,000人を超える状況でDID地区となっている。</li> <li>・名鉄西可児駅の1日の乗降客は7500人を超える状況であり、駅周辺は西可児土地区画整理事業による商業施設の集積地として活発な商業活動を展開している。</li> <li>・平成15年に西可児駅前バリアフリー基本構想を策定し、駅周辺のバリアフリー化を進めている。</li> <li>・可児市第三次総合計画では住みやすい快適環境都市づくりの目標を掲げているが、当地域内の団地では「市民参画と協働のまちづくり条例」に基づく協議会が発足し、住民主体の快適なまちづくりへの機運が高まっている。</li> </ul>
<b>課題</b> 大規模な住宅団地が集積している当地域の住環境を快適にするため以下のような課題が上げられる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋へのアクセス道路として、交通量の大幅な増加に伴い、団地内の通過車両が多く、様々な生活環境問題を引き起こしている。</li> <li>・丘陵地での住宅団地が多いことから起伏のある道路環境は、今後高齢化社会を迎え、安全、安心な歩道確保が急務となっている。また、年少者の安全な通学を確保するため、通学路の歩行空間整備が求められている。</li> <li>・地域の住民は高齢化を迎えようとしており、健康増進や安らぎを求めて公園機能の充実やアクセス性の向上が要望されている。</li> <li>・消火栓の設置数が基準に達していないので、地域住民の安全確保を図るため早急な整備が必要である。</li> </ul>
<b>将来ビジョン(中長期)</b> 当地域については低層住宅団地を中心として暮らしやすく、住み続けられる生活環境を形成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・可児市都市計画マスタープランにおいて住宅地や駅周辺ではバリアフリー化や歩行空間の確保等により、生活の利便性の向上を図り良好な住環境を保全することとしている。また、可児川下流域自然公園や可児市運動公園を市民のスポ・ツ・レクリエーションの拠点に位置づけ、整備を促進するとともに利用者の利便性に配慮したアクセス道路の設置を進めることとしている。</li> <li>・可児市第三次総合計画では各地域ごとの現状と将来予測のもと、消火栓・防火水槽の整備を進め、防火機能の充実を図ることを掲げている。</li> </ul>

目標を定量化する指標								
指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値		
					基準年度		目標年度	
1	幹線道路沿線騒音値	dB	団地内における幹線道路沿線の騒音値	幹線道路沿いの住宅団地の騒音値が高いことから、住環境の向上を図る。	71	平成16年度	68	平成22年度
2	団地内通学路の歩行空間整備率	%	団地内通学路の内、歩行空間が整備された率	団地内通学路の歩行空間整備率を高めることにより安全性の向上を図る。	22%	平成16年度	50%	平成22年度
3	公園利用者数	人	可児市運動公園利用者数	レクリエーション機能及びアクセス性の向上により、公園利用者数の増加を図る。	43,700	平成16年度	63,000	平成22年度
4	安心して防災施設を利用できる人数	人	地区内の指定避難所の防災機能を充実させる計画に基づき、備蓄倉庫を整備することにより安心して防災施設を利用できる人数	備蓄倉庫の設置により防災機能を向上し、被災時に安心して避難所を利用できる人数の増加を図る。	1050人	平成16年度	4050人	平成22年度
5	受益戸数	戸	安定した給水を受給できる戸数	安定した給水を行うために減圧弁を撤去してバイパス管を設置し、安心安全な住環境を整備する。	0戸	平成16年度	10戸	平成22年度